グローリー株式会社

2020年3月期 決算説明資料

1 連結業績の概要

1)連結業績概要 ・・・ P.3
2)営業利益の増減要因 ・・・ P.4
3)セグメント別売上高・営業利益 ・・・ P.5

2 連結業績の詳細

1)セグメント別売上高・営業利益 ・・・ P.7
2)設備投資他 ・・・ P.13
3)2020年3月期 配当について ・・・ P.14

3 現況について～新型コロナウイルス感染症の影響～

1)前期業績への影響 ・・・ P.16
2)地域別・セグメント別の影響 ・・・ P.17
3)2021年3月期 業績予想 配当について ・・・ P.19

4 2021年3月期の取り組み

1)2021年3月期の取り組み ・・・ P.21
2)国内事業 ・・・ P.22
3)海外事業 ・・・ P.25
4)新事業 ・・・ P.28
5)投資動向 ・・・ P.31

参考資料

・2020年3月期 決算関連 ・・・ P.32
予想比
セグメント別売上高・営業利益(四半期)
損益計算書・包括利益計算書
貸借対照表
キャッシュフロー計算書

GLORY 2020
Glory Group Medium-Term Management Plan

2020年3月期

1 連結業績の概要

連結業績概要　前期比

売上高　金融市場を除くすべてのセグメントにおいて増収であったが、

営業利益　金融市場の大口需要の反動を挽回できず、前期に比べ減収減益

（百万円）	2019年3月期 通期	2019年3月期 売上高比率	2020年3月期 通期	2020年3月期 売上高比率	前年同期比
売上高	235,762	100.0%	224,170	100.0%	-4.9%
保守売上高	68,197	28.9%	71,099	31.7%	+4.3%
営業利益	20,576	8.7%	17,927	8.0%	-12.9%
経常利益	20,575	8.7%	15,657	7.0%	-23.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	12,256	5.2%	8,961	4.0%	-26.9%
※ EBITDA	33,143	14.1%	31,865	14.2%	-3.9%

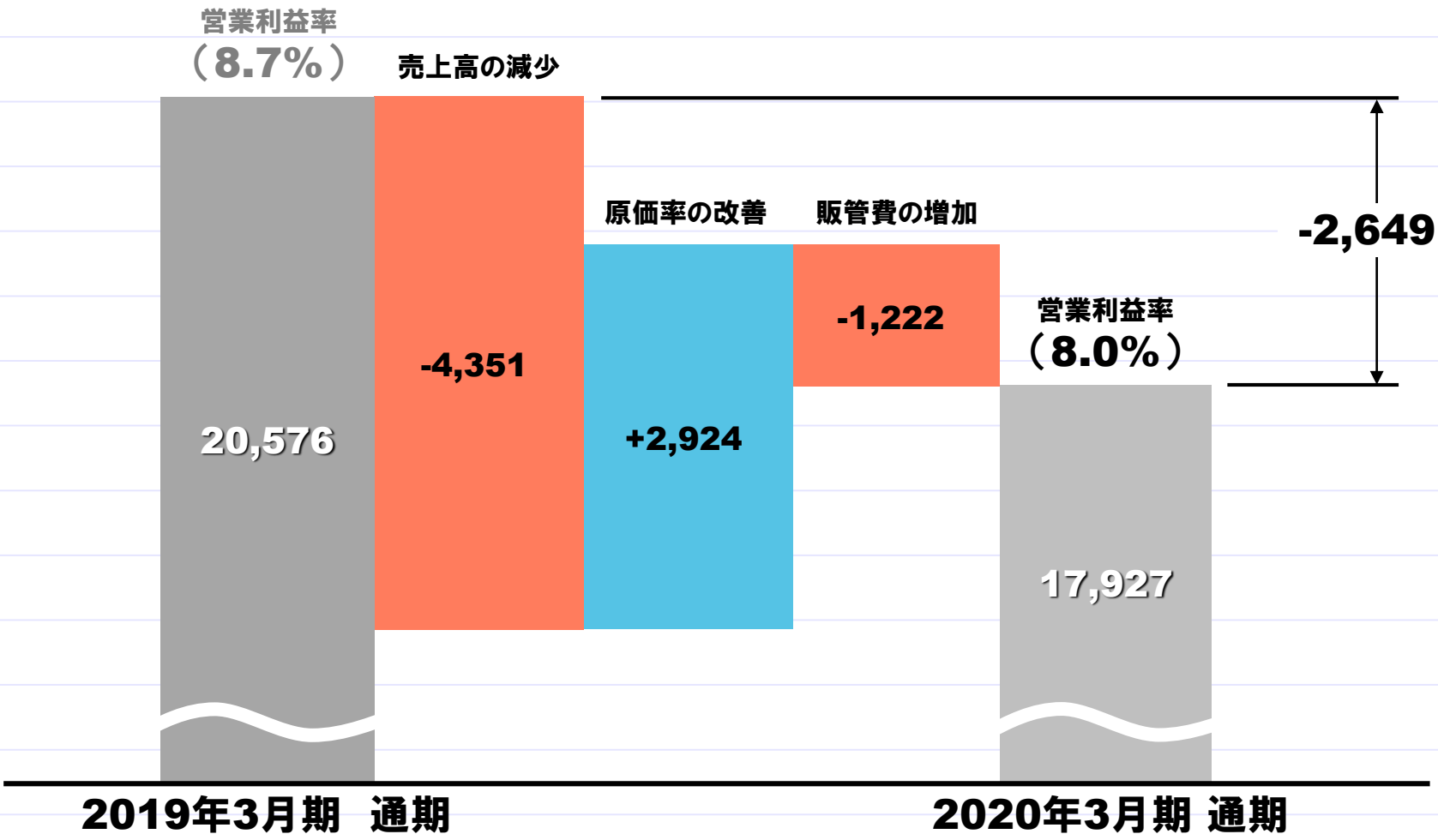
為替レート			
	ドル	111 円	109 円
	ユーロ	128 円	121 円

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

営業利益 増減要因

単位:百万円

売上高減少の影響を受け減益



セグメント別売上高・営業利益 前期比

（百万円）	売上高			営業利益		
	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	前期比	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	前期比
海外市場	103,287	103,621	+334 +0.3 %	8,761	9,780	+1,019 +11.6 %
金融市場	56,636	42,262	-14,374 -25.4 %	6,764	3,314	-3,450 -51.0 %
流通・交通市場	51,985	52,487	+502 +1.0 %	4,611	5,198	+587 +12.7 %
遊技市場	20,511	20,753	+242 +1.2 %	1,959	1,998	+39 +2.0 %
その他	3,341	5,045	+1,704 +51.0 %	-1,521	-2,364	-843 - %
合 計	235,762	224,170	-11,592 -4.9 %	20,576	17,927	-2,649 -12.9 %

2020年3月期

2 連結業績の詳細

海外市場

リテール市場向け製品の販売が好調

百万円	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	前期比
売上高	103,287	103,621	+334 +0.3 %
構成比率	43.8%	46.2%	+2.4 pt
営業利益	8,761	9,780	+1,019 +11.6 %
構成比率	42.6%	54.6%	+12.0 pt
営業利益率	8.5%	9.4%	+0.9 pt

業績のポイント

金融市場向け
☑ 窓口用紙幣入出金機 ➡ 欧米で販売減

リテール市場向け
☑ 紙幣硬貨入出金機 ➡ 欧米で販売増

セグメントの概要

海外の金融機関、警備輸送会社、小売店、カジノ、OEM先等への販売・保守

主要製品

紙幣入出金機
RBGシリーズ

紙幣硬貨入出金機
CI-100シリーズ

紙幣整理機
UWシリーズ

地域別売上高

（百万円）	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	前期比	現地通貨ベース
米州	36,728	38,189	+1,461 +4.0 %	+6.1%
欧州	43,140	43,313	+173 +0.4 %	+6.7%
アジア	14,757	14,802	+45 +0.3 %	-
中国	5,578	5,694	+116 +2.1 %	+8.2%
OEM	8,661	7,316	-1,345 -15.5 %	-15.5%
合　計	103,287	103,621	+334 +0.3 %	-

- 米　州 ・・・ リテール市場向け製品の販売が好調。
- 欧　州 ・・・ リテール市場向け製品の販売が堅調。
- アジア ・・・ 金融市場向け製品の販売が低調。
- 中　国 ・・・ 金融市場向け製品の販売は前期並み。
- OEM ・・・ ATM用紙幣入出金ユニットの販売が低調。

金融市場

主要製品の販売が低調

百万円	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	前期比
売上高	56,636	42,262	-14,374 -25.4 %
構成比率	24.0%	18.9%	-5.1 pt
営業利益	6,764	3,314	-3,450 -51.0 %
構成比率	32.9%	18.5%	-14.4 pt
営業利益率	11.9%	7.8%	-4.1 pt

業績のポイント

- ☑ オープン出納システム
- ☑ 窓口用紙幣硬貨入出金機

➡ 大口需要の反動により販売は低調

セグメントの概要

国内の金融機関、OEM先等への販売・保守

主要製品

オープン出納システム
WAVEシリーズ

窓口用
紙幣硬貨入出金機
RBシリーズ

多能式紙幣両替機
ENシリーズ

流通・交通市場

レジつり銭機の販売が低調

百万円	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	前期比
売上高	51,985	52,487	+502 +1.0 %
構成比率	22.0%	23.4%	+1.4 pt
営業利益	4,611	5,198	+587 +12.7 %
構成比率	22.4%	29.0%	+6.6 pt
営業利益率	8.9%	9.9%	+1.0 pt

業績のポイント

- ☑ レジつり銭機
  - ➡ 大口需要の反動により販売は低調
- ☑ 売上金入金機・券売機
  - ➡ 販売は好調

セグメントの概要

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社、たばこメーカー、病院、自治体等への販売・保守

主要製品

レジつり銭機
RT／RADシリーズ

売上金入金機
DSSシリーズ

小型入金機
DS-Nシリーズ

遊技市場

主要製品の販売が低調

百万円	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	前期比
売上高	20,511	20,753	+242 +1.2 %
構成比率	8.7%	9.3%	+0.6 pt
営業利益	1,959	1,998	+39 +2.0 %
構成比率	9.5%	11.1%	+1.6 pt
営業利益率	9.6%	9.6%	±0.0 pt

業績のポイント

☑ カードシステム
- ➡ ホールの設備投資抑制により減少

☑ その他商品
- ➡ 喫煙ブースの販売が増加

セグメントの概要

国内の遊技場（パチンコホール等）への販売・保守

主要製品

カードシステム

管理ターミナル

カードユニット

カード精算機

賞品保管機 JKシリーズ

その他

新事業の早期事業化に向けた投資を推進

百万円	2019年3月期 通　期	2020年3月期 通　期	前期比
売上高	3,341	5,045	+1,704 +51.0 %
構成比率	1.4%	2.3%	+0.9 pt
営業利益	-1,521	-2,364	-843 - %
構成比率	-	-	- pt
営業利益率	-	-	- pt

業績のポイント

☑ 新事業部門へ戦略的投資

➡ ・人的リソースの投入
・実証実験　など

セグメントの概要

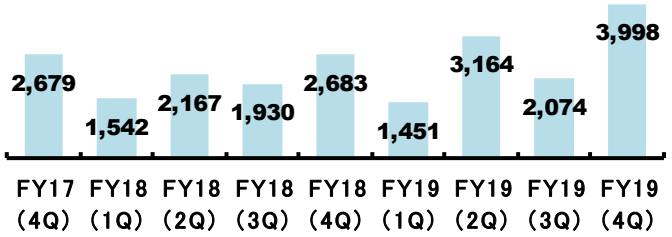
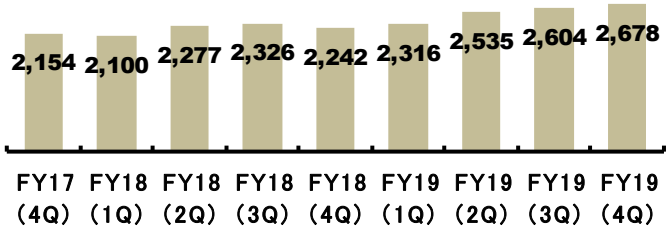
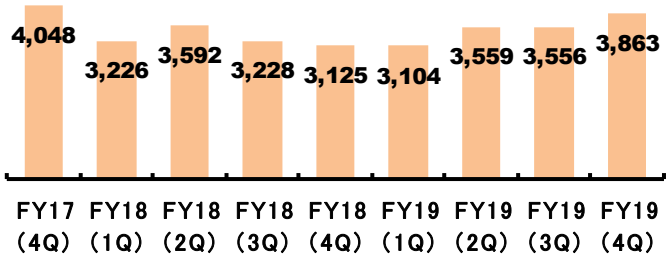
4つの報告セグメントに属さない販売・保守

主要製品・事業

顔認証システム

ロボットSI事業

設備投資他

（百万円）	2019年3月期 通 期	2020年3月期 通 期	前期比	四半期毎の推移
設備投資額	8,322	10,687	+2,365 +28.4 %	
減価償却費	8,945	10,133	+1,188 +13.3 %	
研究開発費	13,171	14,082	+911 +6.9 %	

2020年3月期の配当について

利益配分に関する基本方針

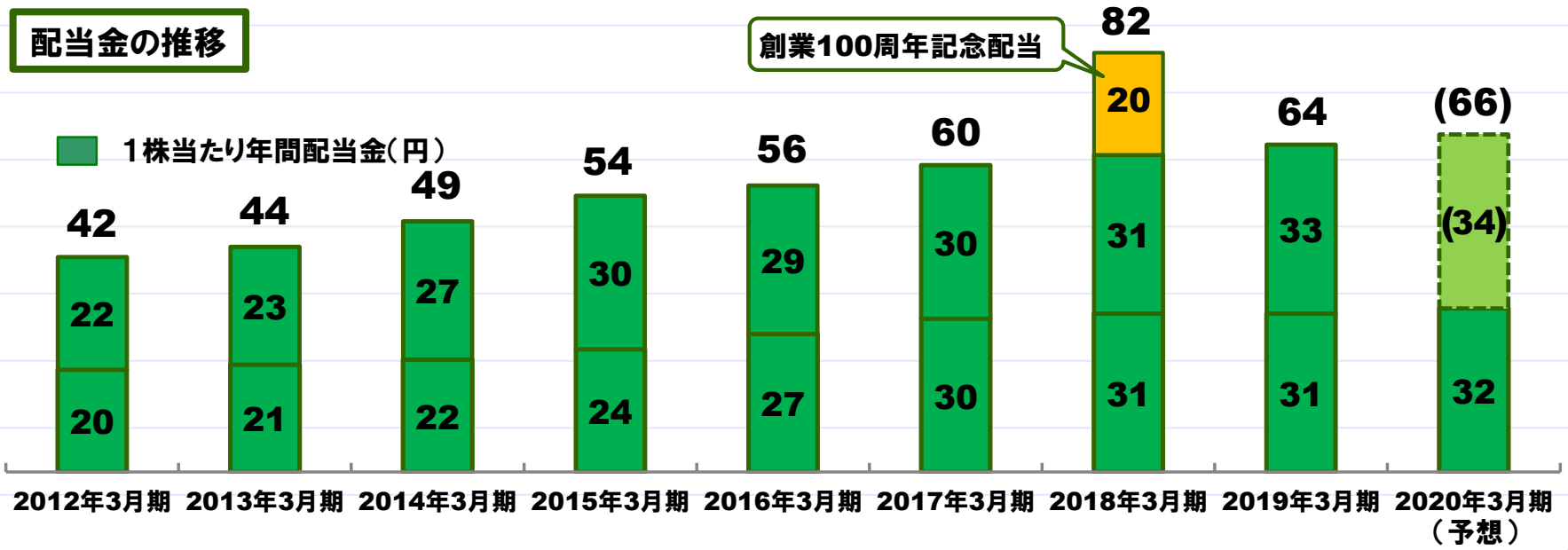
将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針とし、

連結配当性向30％以上を目標に、配当を実施することとしております。

	第2四半期末	期末（予定）	年間（予定）
1株当たりの配当金	32円	34円	66円 （配当性向44.5％）

※期末配当につきましては、2020年6月26日開催予定の第74回定時株主総会に付議する予定です。

配当金の推移



3 現況について

～新型コロナウイルス感染症の影響～

新型コロナウイルス感染症の業績への影響 前年同期比：第４四半期

＜国内＞

金融市場の大口需要の反動による減収であり、影響は殆どなかった

＜海外＞

事業活動の制限が第4四半期後半に留まったため影響は軽微であった

（百万円）	第4期四半期 売上高		前年同期比
	2019年3月期	2020年3月期	
金融市場	15,887	11,608	-4,279 -26.9 %
流通・交通市場	14,587	15,235	+648 +4.4 %
遊技市場	4,636	4,797	+161 +3.5 %
その他	1,020	1,466	+446 +43.7 %
合　計	36,130	33,106	-3,024 -8.4 %

（百万円）	第4期四半期　売上高		前年同期比
	2019年3月期	2020年3月期	
米州	12,863	11,935	-928 -7.2 %
欧州	12,954	12,579	-375 -2.9 %
アジア	4,303	3,896	-407 -9.5 %
中国	1,826	1,105	-721 -39.5 %
OEM	2,708	1,869	-839 -31.0 %
合　計	32,827	30,278	-2,549 -7.8 %

海外地域別の状況

5月末時点

米　国	【営 業 活 動】 営業活動が通常時の2割程度にとどまったことにより多くの商談が延伸。ただしキャンセルとなった大口案件はない 【保守サービス】 顧客の店舗閉鎖などにより通常の5割程度の稼働率
欧　州	【営 業 活 動】 米国と同様に事業活動の制約が続く 主要国のロックダウンは徐々に緩和される見込み 【保守サービス】 顧客の店舗閉鎖などにより通常の5割程度の稼働率
アジア	【営 業 活 動】 事業活動の制約が続く 【保守サービス】 各国の規制に従い最低限の活動を継続中
中　国	【営 業 活 動】 一部のプロジェクトが延伸したが、業務は本格化
OEM	5月初からのフィリピン工場生産再開に伴い、活動は徐々に本格化の見込み

国内セグメント・生産施設の状況

5月末時点

金融市場	新規商談の制約は受けたが納品は継続 営業活動は6月以降本格化する見込み
流通・交通市場	一部商談・納品の延伸が発生したが 営業活動は6月以降本格化する見込み
遊技市場	4月末時点では大半のホールが休業していたが、現在では7割程度が営業再開。感染防止対策などにより厳しい環境が続く

海外生産拠点	**中国**	4月以降生産は正常化
	フィリピン	5月初より生産を再開、現在の稼働率は7割程度

2021年3月期の業績予想と配当について

連結業績見通しおよび年間配当は未定

＜理由＞

特に海外主要地域における事業活動の本格的な再開時期が現時点では見通せず、業績予想の適正且つ合理的な算定が困難であるため

＜今後＞

適正且つ合理的算定が可能となった時点で速やかに開示

4 2021年3月期の取り組み

2021年3月期の取り組み

持続可能な事業運営の基盤づくり（既存事業）

・強固な顧客基盤の徹底的な深掘りによる成長の再加速

国内事業戦略

市場の変化に柔軟に対応したソリューション提案の推進
－ 次世代店舗スタイルの実現、非現金事業分野の拡大 －

重点施策

【 金 融 】
- ・次世代店舗スタイルを実現する製品の販売拡大
- ・主要商品の裾野拡大

【 流通・交通 】
- ・レジつり銭機(セルフレジ)・券売機などのセルフ機の販売強化
- ・非現金事業分野の販売拡大 → 電子決済、帳票処理、生体認証

海外事業戦略

セルフオペレーション化による金融事業の再成長と
リテール事業のさらなる加速

重点施策

【 欧 米 】
- （金　融） TCRの浸透率向上及びセルフ市場の開拓
- （リテール）バックオフィス市場の拡販強化とフロント市場への浸透
- 買収した企業とのシナジー効果の創出

【 アジア 】
- （金　融） 主要国でのTCRの販売拡大
- （リテール）高度成長期待国への投資

社会課題解決に向けた協働の取り組み強化（新規事業）

・モノ（ハードウェア）からコト（ソリューション/サービス）へのビジネスモデルの変革
・生体・画像認識事業、ロボットSI事業のさらなる拡大

2021年3月期の取り組み
（国内事業）

次世代店舗スタイルの実現

提案するソリューション

- **金融機関の収益拡大 ：後方事務の削減で来客対応に注力/少人数店舗運営**
- **来店客の満足度向上 ：セルフオペレーションによる待ち時間軽減**

金融機関の再編、店舗の削減への対応

1~3 年後の理想店舗像

「スマート店舗」

店舗を大きく4つに分類し効果的な戦略を提案。
後方事務をゼロにすることで人材と時間を捻出。
来客に対しての店頭セールスに注力できる体制。

小型店舗

機械化店舗

- **BPR支援サービスの展開**

実績	２０１８年度	約１２件
	２０１９年度	約５０件

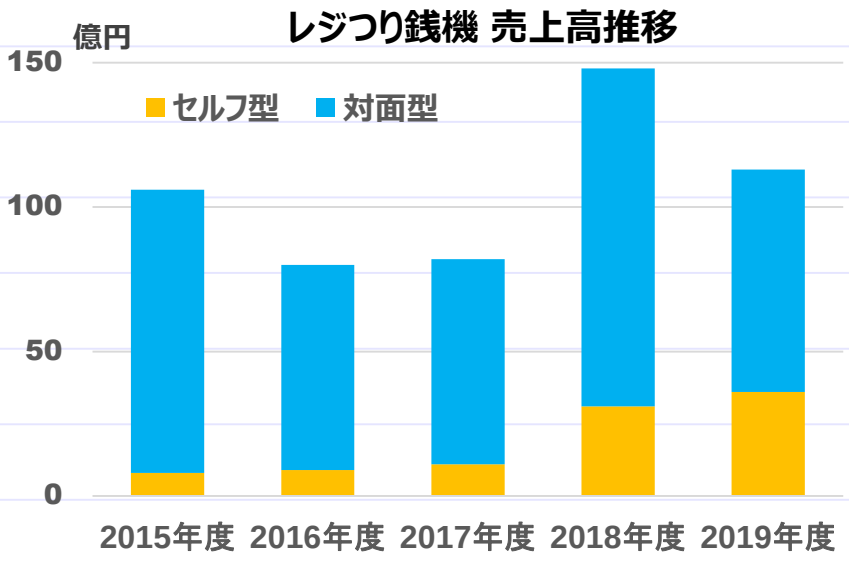
- **店舗施工売上高**
  - ・2018年度実績： 8億円
  - ・2019年度実績： 7億円
- **リモート・テラー・システムの拡販**
- **印鑑スキャナーの拡販**

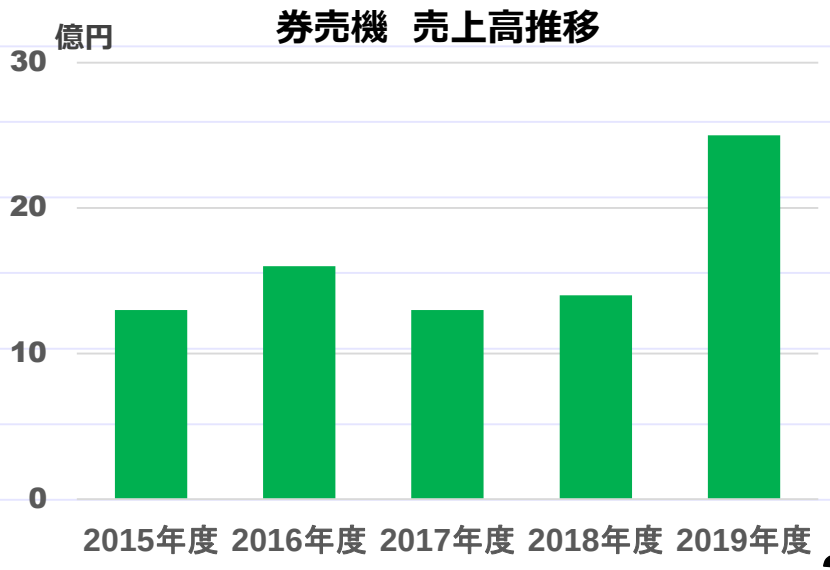
人手不足・コンタクトレスニーズへの対応

提案するソリューション

- 小売店等の収益向上 ： 煩雑な精算業務の効率化と人手不足の解消
- 来店客の満足度向上 ： 多様な決済手段の提供とレジ待ち時間の軽減

セルフ向けレジつり銭機





2021年3月期の取り組み
（海外事業）

ローコストオペレーションへの対応

提案するソリューション

- 金融機関の収益拡大 ： 少人数での店舗運営および現金管理の厳正化
- 来店客の満足度向上 ： 銀行手続きの効率化による待ち時間の軽減

TellerInfinity™

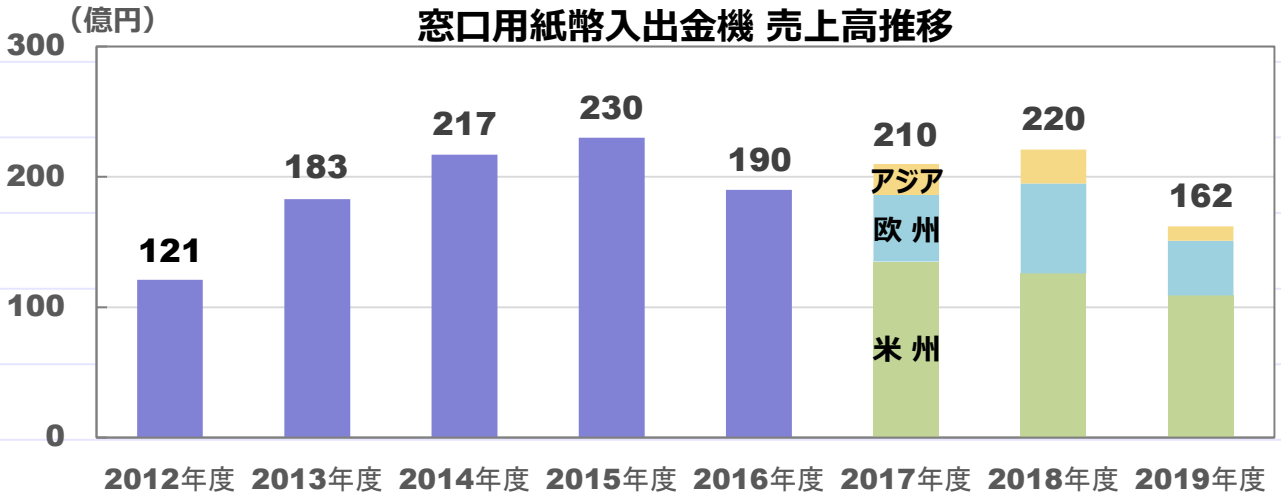
顧客自らが操作するシステム製品による
ソリューション提案を推進

【主な機能】

- 硬貨、紙幣の入出金
- 小切手の入出金
- 自行、他行への送金
- 公共料金の支払

窓口用紙幣入出金機

窓口業務を効率化する
システム製品による
ソリューション提案を推進



小売店舗の業務効率化

GLORY

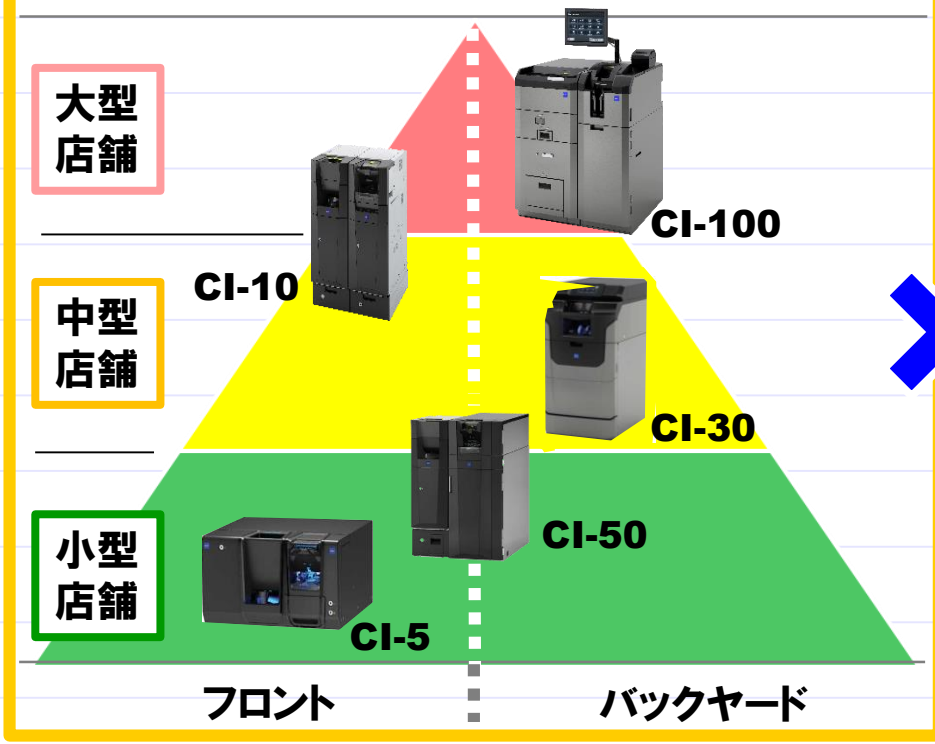
提案する ソリューション

- 小売店等の収益拡大 ： 現金管理の厳正化および少人数での店舗運営
- 来店客の満足度向上 ： レジ待ち時間の軽減

バックオフィス市場の販売強化
買収した企業とのシナジー効果の創出

◆リテール市場の販売拡大◆
～豊富な製品ラインナップ～

●リテール市場向け製品(CIシリーズ)



◆新たなビジネスモデルの構築◆
～シナジー効果の早期創出～

●Acrelec社（フランス）

世界各国の大手ファストフード店などに
セルフサービスキオスクを展開

・グローリーの販路を活用した製品の販売拡大
・グローリー保有技術との融合による新たな顧客価値の創造
・店舗管理プラットフォームの活用による新たなサービスの実現

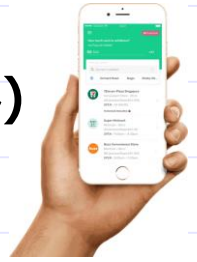
×

●CPS社（ドイツ）

欧州地域で流通小売店のレジを通じた
オンライン現金決済プラットフォームを開発・提供

●SOCASH社（シンガポール）

小売店舗のレジから現金を出金する
キャッシュアウトサービスを開発・提供



新事業（タッチレスニーズの対応）

生体画像認証（安心・安全な社会の実現に向けたソリューションの提供）

BioPay（顔認証決済）の実用化

【サービス概要】
・加盟店でBioPay登録ユーザが、顔認証での決済が可能となる支払いサービス
・クレジット、銀行口座等を紐付け利用する

店内

スマホ/タブレット端末

顔＋記憶認証での決済

新ウォークスルー型顔認証システムの拡販

【特長】
・マスクやサングラスの着用、逆光や暗所、事前登録データが斜め顔など、厳しい認証環境でも高い精度で本人認証が可能。
・最大1000店舗の顔情報などを一元管理

ロボットSI事業（自動化社会の推進）

販売拡大
ターゲット業態向け販売促進策の推進

商品力強化
新技術開発→AI画像検査等

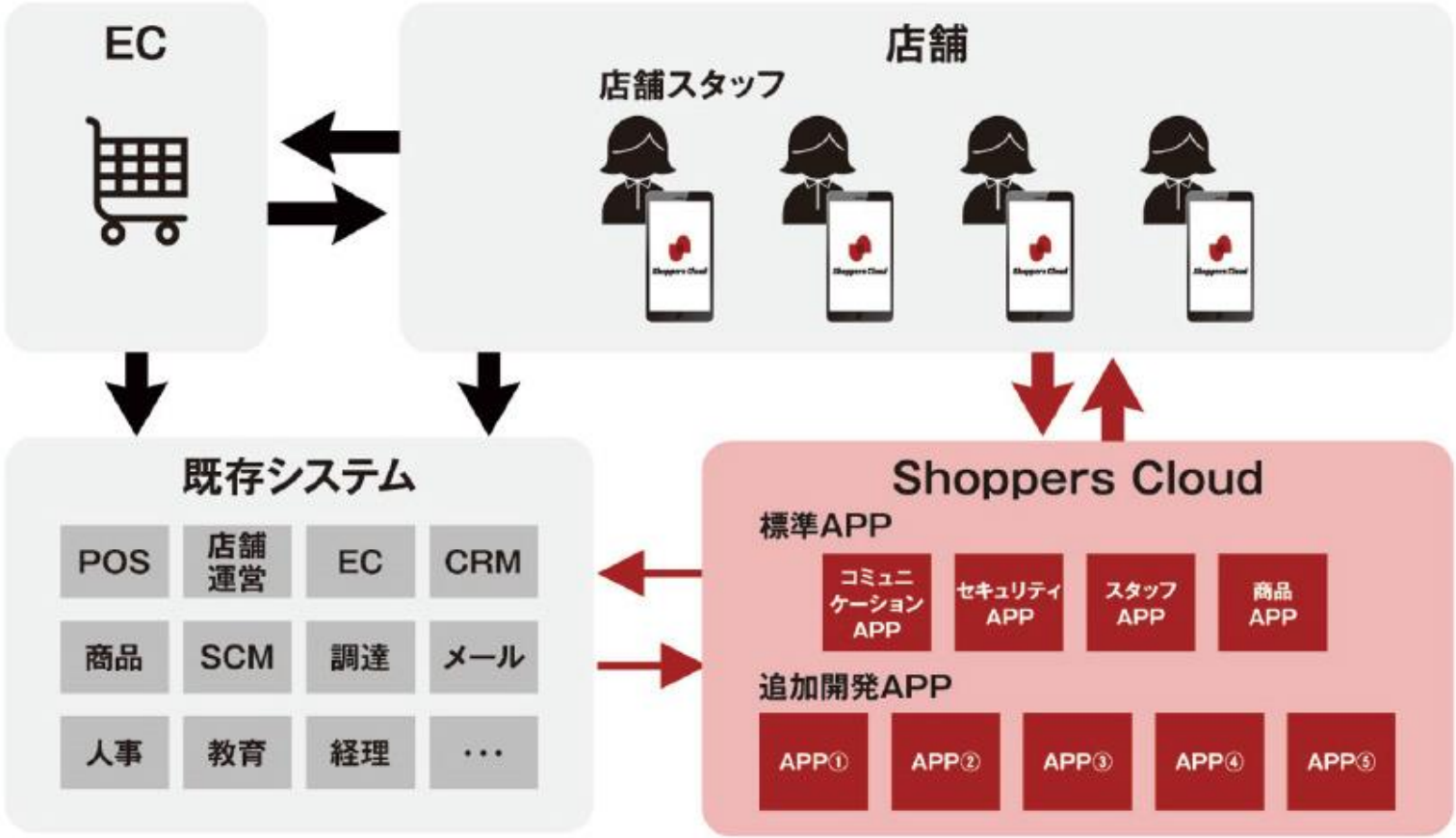
事業基盤の強化
新たな業態の開拓

富士レビオ株式会社 相模原工場 様(2019年度納入)

新事業（店舗業務支援）

店舗業務支援アプリ「Shoppers Cloud」のサービス化

コミュニケーション、セキュリティ（万引き防止など）、スタッフおよび商品管理のアプリを提供するクラウドサービス。
店舗スタッフが持つ複数の端末をスマホ1台に集約することで、業務負荷の大幅な削減、および安全面と衛生面が確保される。



新事業（個体認証他）

医療分野での事業展開

AMEC Advanced Medical Engineering Center × GLORY

兵庫県立大学工学研究科 先端医工学研究センター（AMEC）内に「グローリー医工学共同研究講座」を開設。
グローリーの認識・識別技術を融合し、高齢化社会に伴うさまざまな疾病の早期発見と診断や治療などの支援に役立つ技術の確立を目指す。

順天堂大学 JUNTENDO UNIVERSITY × GLORY

順天堂大学および数社で共同研究を実施。
グローリーの感情認識技術と日本IBMのAIなどを活用し、顔の表情や話す言葉などから、パーキンソン病や認知症などの早期発見や進行度合を診断できるシステムの構築を目指す。

株式会社EMシステムズ × GLORY

保険薬局向け処方箋入力支援システムで協業。
イーエムシステムズが提供する調剤報酬を請求し、患者情報を管理するシステムに、グローリーのOCR（光学式文字認識）技術を搭載。
2019年10月より販売

EcoNaviSta エコナビスタ株式会社 × GLORY

介護・福祉施設向け健康見守りサービスで協業。
顔認証技術を利用した「離院事故予防システム」は患者さまが病院外へ出ようとされた際に、顔認証カメラで撮影した画像とともに、病院スタッフの端末へメールで通知。

戦略投資

重点分野への戦略投資は積極的に実施

直販・直メンテナンス網の拡大・強化		新たなビジネスモデルの構築
	2020年	アドインテと資本業務提携（日本） ～データアナリティクス技術の獲得～ Acrelec GroupS.A.Sを子会社化（フランス） ～KIOSK事業の推進～
販売代理店(Sortek社)を子会社化（メキシコ） ・Sitrade Italia S. p. A.出資比率を75%に ・CTS Solutions S.r.l.を子会社化（イタリア）	2019年	SOCASH PTE. LTD.に資本参加（シンガポール） Cash Payment Solutions GmbHを子会社化（ドイツ）
販売代理店(Semeci Limited)を子会社化（アイルランド）	2018年	フュートレックと資本業務提携（日本） ～音声認識技術の獲得～
販売代理店(In-Tech社)を子会社化（ロシア） ソフトウエア開発メーカー(REEVEX社)を子会社化（U.S.A.）	2016年	
販売代理店(ATS社)を子会社化（ニュージーランド）	2015年	
Talaris Topco Limitedを買収（イギリス）	2012年	

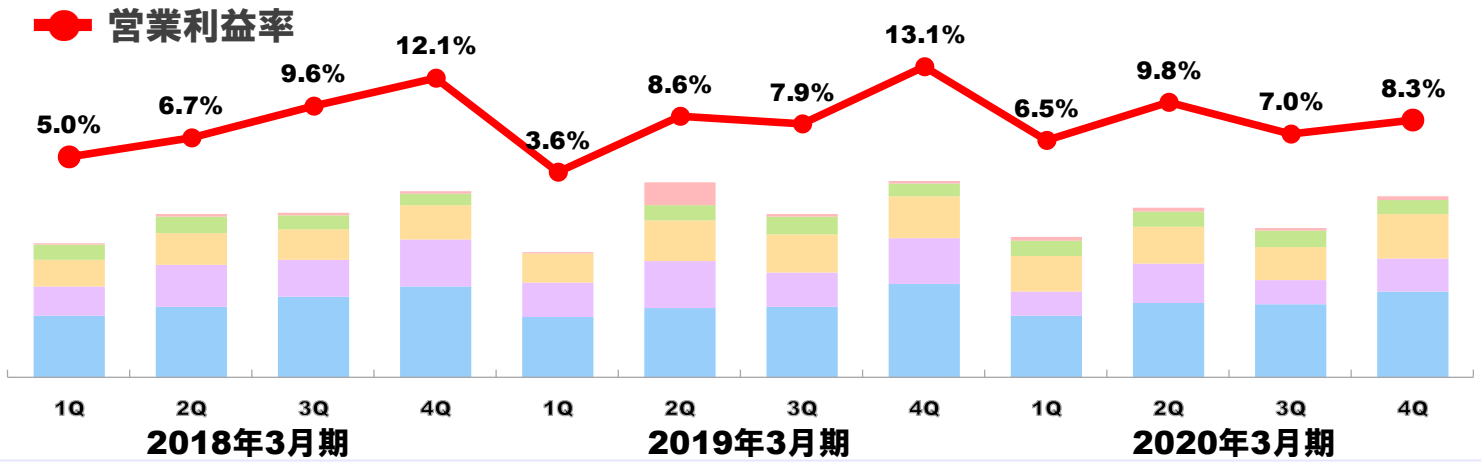
参考資料

セグメント別売上高・営業利益　予想比

（百万円）	売上高			営業利益		
	通　期		予想比	通　期		予想比
	予　想	実　績		予　想	実　績	
海外市場	110,000	103,621	-6,379 -5.8 %	9,500	9,780	+280 +2.9 %
金融市場	44,000	42,262	-1,738 -4.0 %	2,800	3,314	+514 +18.4 %
流通･交通市場	51,500	52,487	+987 +1.9 %	5,500	5,198	-302 -5.5 %
遊技市場	20,000	20,753	+753 +3.8 %	1,900	1,998	+98 +5.2 %
その他	4,500	5,045	+545 +12.1 %	-2,700	-2,364	+336 - %
合　計	230,000	224,170	-5,830 -2.5 %	17,000	17,927	+927 +5.5 %

※予想は2020年2月6日公表値

セグメント別売上高/営業利益（四半期）



（百万円）	2020年3月期				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通　期
海外市場	21,541 1,246	26,023 2,801	25,779 2,237	30,278 3,496	103,621 9,780
金融市場	8,617 297	13,718 1,771	8,319 451	11,608 795	42,262 3,314
流通・交通市場	12,531 1,532	12,952 1,387	11,769 956	15,235 1,323	52,487 5,198
遊技市場	5,224 702	5,319 591	5,413 580	4,797 125	20,753 1,998
その他	1,161 -608	1,417 -701	1,001 -545	1,466 -510	5,045 -2,364
合　計	49,076 3,171	59,429 5,847	52,280 3,679	63,385 5,230	224,170 17,927

上段：売上高
下段：営業利益

損益計算書・包括利益計算書

（百万円）	2019年3月期 通期	2019年3月期 売上高比率	2020年3月期 通期	2020年3月期 売上高比率	増減
売上高	235,762	100.0%	224,170	100.0%	-11,592
売上原価	147,274	62.5%	137,109	61.2%	-10,165
販売費及び一般管理費	67,912	28.8%	69,134	30.8%	+1,222
営業利益	20,576	8.7%	17,927	8.0%	-2,649
営業外収益	1,052	0.4%	785	0.4%	-267
営業外費用	1,053	0.4%	3,055	1.4%	+2,002
経常利益	20,575	8.7%	15,657	7.0%	-4,918
特別利益	66	0.0%	226	0.1%	+160
特別損失	80	0.0%	391	0.2%	+311
税金等調整前四半期純利益	20,562	8.7%	15,491	6.9%	-5,071
法人税等	7,007	3.0%	5,501	2.5%	-1,506
当期純利益	13,554	5.7%	9,990	4.5%	-3,564
親会社株主に帰属する当期純利益	12,256	5.2%	8,961	4.0%	-3,295

当期純利益	13,554	5.7%	9,990	4.5%	-3,564
その他有価証券評価差額金	-692		-672		+20
為替換算調整勘定	1,603		-2,542		-4,145
退職給付に係る調整額	-650		-1,333		-683
その他の包括利益合計	265	0.1%	-4,551	-2.0%	-4,816
包括利益	13,820	5.9%	5,438	2.4%	-8,382

貸借対照表　前期末比

（百万円）	2019年3月末	2020年3月末	増　減
現預金・有価証券	75,884	73,583	-2,301
売掛債権	57,170	49,603	-7,567
棚卸し資産	48,527	51,681	+3,154
その他	6,562	6,541	-21
流動資産合計	188,143	181,408	-6,735
有形固定資産	34,829	38,503	+3,674
顧客関係資産	19,108	17,968	-1,140 ①
のれん	44,245	43,246	-999
その他	6,438	6,701	+263
無形固定資産	69,791	67,915	-1,876
投資その他の資産	25,464	20,935	-4,529
固定資産合計	130,084	127,354	-2,730
資産合計	318,228	308,763	-9,465

（百万円）	2019年3月末	2020年3月末	増　減
買掛債務	18,475	18,500	+25
短期借入金	27,845	24,951	② -2,894
その他	44,147	42,172	-1,975
流動負債合計	90,467	85,623	-4,844
長期借入金	0	46	② +46
その他	34,503	35,950	+1,447
固定負債合計	34,503	35,996	+1,493
負債合計	124,971	121,620	-3,351
資本金	12,892	12,892	0
利益剰余金	172,219	163,070	-9,149
その他	8,146	11,181	+3,035
純資産合計	193,257	187,143	-6,114
負債純資産合計	318,228	308,763	-9,465

①顧客関係資産、のれんは順調に減少。

②有利子負債は借入金の返済等により減少。

キャッシュフロー計算書

（百万円）	2019年3月期 通　期	2020年3月期 通　期	増　減
営業活動によるキャッシュフロー	24,300	25,062	+762
投資活動によるキャッシュフロー	-11,388	-13,032	-1,644
財務活動によるキャッシュフロー	-361	-15,339	-14,978
現金及び現金同等物の増減額	12,697	-4,227	-16,924

フリーキャッシュフロー	12,912	12,030	-882

<注意事項>

1. 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きくことなる可能性があります。
   そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。
   また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。

2. 当資料の増減率、構成比は、百万円以下を切り捨てた数値を基に算出しており、決算短信の増減率とは異なる場合があります。